

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和02年05月21日

計画の名称	碧南市における浸水・地震対策の推進（防災・安全）（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ～ 平成30年度（1年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	碧南市														
計画の目標	下水道施設による浸水対策と主要施設の耐震化及び長寿命化を推進し、安全・安心な生活基盤を実現する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		243	A	243	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	—	(H30末)
1	過去において水害が発生した地域の、浸水対策達成率を77%(H30当初)から79%(H30末)に増加させる			
	下水道による都市浸水対策達成率	77%	%	79%
	浸水対策完了済面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）			
2	主要な施設の地震対策率を75%から増加させていく			
	主要な施設の地震対策実施率	75%	%	75%
	主要な施設のうち、耐震化または減災対策済の施設数（箇所） / 重要な施設数（箇所）			
3	主要な施設の長寿命化対策実施率を19%(H30当初)から20%(H30末)に増加させる			
	下水道施設における長寿命化対策実施率	19%	%	20%
	長寿命化対策実施済の設備数（基） / 長寿命化対策実施対象設備数（基）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
下水道長寿命化計画												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠（ 雨水）	新設	中田川排水区 雨水排水 路 2	管渠新設 □800×800 開削 工法 L=0.1km	碧南市	■					86		-
	A07-002	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	ポンプ 場	改築	主要な施設の耐震改修事 業	雨池ポンプ場 耐震化 土木 構造物一式	碧南市	■					22		-
		総合地震対策計画																	
	A07-003	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	ポンプ 場	改築	主要な施設の長寿命化改 修事業	堀川ポンプ場 改築 原動機 （エンジン）	碧南市	■					135		策定済
		下水道長寿命化計画																	
											小計						243		
											合計						243		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
碧南市開発水道部において実施	事業終了後、令和2年5月実施
	公表の方法
	碧南市ホームページに掲載
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 中田川排水区の整備により、浸水対策達成率の向上が図られた。 ・ 下水道施設の耐震化を実施し、災害時における機能確保が図られた。 ・ 下水道施設の長寿命化を実施し、安定した下水道サービスの維持が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
引き続き、下水道施設による浸水対策及び主要施設の耐震化並びに長寿命化を推進し、安全・安心な生活基盤を実現する。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策達成率		
	最 終 目標値	79%	
	最 終 実績値	79%	
2	主要な施設の地震対策実施率		
	最 終 目標値	75%	
	最 終 実績値	75%	
3	下水道施設における長寿命化対策実施率		
	最 終 目標値	20%	
	最 終 実績値	20%	

